

**第35回**  
**福島県児童・生徒木工工作コンクール**  
**表彰式**

◇とき 平成22年10月2日(土) 午後1時00分

◇ところ ビッグパレットふくしま 多目的ホール(特設ステージ)  
「ふくしま環境エネルギーフェア2010」会場

**福島県木材青壮年協会**

---

# 式次第

## 表彰式

1. 開 会
2. 挨拶
3. 来賓紹介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

## 記念撮影

## 出席者名簿 (敬称略)

### こ 来 賓

福島大学人間発達文化学類教授	新 井 浩 (あらい ひろし)
福島県農林水産部次長	相 馬 雅 俊 (そうま まさとし)
関東森林管理局福島森林管理署次長	山 形 和 也 (やまがた かずや)
福島民報社郡山本社総括本部長	遠 藤 義 範 (えんどう よしのり)
NHK福島放送局郡山支局長	星 野 真 (ほしの まこと)
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗 形 芳 明 (むなかた よしあき)

### 主 催 者

福島県木材青壮年協会会長	大 平 宏 之 (おおひら ひろゆき)
--------------	---------------------

### 受 賞 者

福島県知事賞	第1部	小 幡 柁 貴 (おばた まさき)
〃	第2部	前 澤 伸 賢 (まえざわ のぶまさ)
福島県教育委員会教育長賞	第1部	園 部 皆 斗 (そのべ かいと)
〃	第2部	鈴 木 桃 香 (すずき ももか)
関東森林管理局長賞		柳 沼 亮 (やぎぬま りょう)
福島民報社長賞		鈴 木 嘉英人 (すずき かえと)
財団法人福島県林業会館理事長賞		菅 野 滉 大 (かんの こうた)
福島県木材協同組合連合会長賞		桑 名 愛 結 (くわな あゆ)
NHK福島放送局長賞		小 野 夏 海 (おの なつみ)
ラジオ福島社長賞		三 瓶 未 久 (さんぺい みく)
福島テレビ社長賞		小 松 渚 紗 (こまつ なぎさ)
福島県木材青壮年協会	第1部	鈴 木 夏 帆 (すずき かほ)
〃	第2部	田 村 英 之 (たむら ひでゆき)

## 開催の趣旨

### 目 的

地球温暖化が問題となり環境保護が叫ばれている今日、この木工工作コンクールを通じて未来を担う子どもたちに再生可能な循環型資源としての木材をより身近に感じてもらい、いろいろな種類の木材に触れ、香り・色・形・肌触りから木材の持つ強さ、やさしさ、美しさという良さを伝えたい。また、実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら創造を形にすることの喜び、感動する経験から将来は木材を使用した住宅・家具などに興味を寄せてもらい木材の利用推進につなげていきたい。

### 主 催 等

- ◇ 主 催 ◇ 福島県木材青壮年協会・福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後 援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・(財)福島県林業会館
- ◇ 協 賛 ◇ NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ

### 応 募 資 格

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが75 cmを越えないもの。

### 審 査 基 準

- |                            | 配点(100点) |
|----------------------------|----------|
| (1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。  | 30点      |
| (2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。 | 30点      |
| (3) 機能、デザインが優秀であること。       | 20点      |
| (4) 工作技術が優秀であること。          | 20点      |

# 経過説明

## 審査内容

1. 出展作品数 総数1, 293点(45校)  
さらに、各支部の予選審査により44点が最終審査に出展された。
2. 審査会 平成22年9月8日郡山市において次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

◇審査委員長◇

福島大学人間発達文化学類教授

(敬称略)

新井 浩

◇審査委員◇

福島県農林水産部林業振興課長

堀江 隼人

関東森林管理局福島森林管理署長

中山 浩次

福島県教育長学習指導課指導主事

五十嵐 幸男

福島民報郡山本社総括本部長

遠藤 義範

NHK 福島放送局郡山支局長

星野 真

ラジオ福島郡山支社長

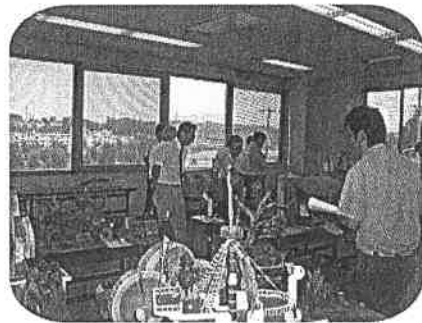
松本 良市

福島県木材協同組合連合会専務理事

宗形 芳明

福島県木材青壮年協会会長

大平 宏之



## その他

### 3. 全国コンクールへの参加

上位入賞作品については、平成23年3月上旬開催の全国コンクールに出展し、更に入賞した作品については、6月4日埼玉県で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会会場において表彰される。

### 4. 作品の展示及び展示期間

(1)平成22年10月2日(土)～10月3日(日)

於：ビッグパレットふくしま(「ふくしま環境エネルギーフェア2010」会場)

(2)平成22年10月23日(土)～10月24日(日)

於：福島県林業研究センター(「第35回福島県林業祭」会場)

## 講 評

第35回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長  
福島大学人間発達文化学類教授  
新 井 浩

第35回福島県児童生徒木工工作コンクールの審査は9月8日、郡山市安積総合学習センターで行われました。その感想と講評をおこないます。

今年も会場には充実した力作が多数出品され、全体の力量も、大きく力強く、創意工夫に富み、今までよりさらにレベルアップしているように感じました。今年度の全国大会でも福島県選出の作品が最高賞に選ばれるなど、福島県の木工工作は全国の中でもたいへん優秀です。これからも自信を持って取り組んでほしいと思います。

第1部の最優秀賞に選ばれた小幡<sup>おばたまさき</sup> 証貴君の〈流木恐竜〉は、流木の力強さを恐竜の胴体や脚に生かしながら、口の中の細かな牙まで流木で繊細に形作った作品です。その力強さと繊細さを兼ね備えている点で最優秀賞にふさわしい作品と感じました。

第2部の最優秀賞に選ばれた前澤<sup>まえざわのぶまさ</sup> 伸賢君の〈オクトパス〉は、タコの脚を木の根で作し、その動きの感じが見事でした。更に吸盤まで作っているところがその力強さを増していました。木の根をタコの脚に見立てただけではなく、生き生きと動く感じまで表した、新鮮ですばらしい作品になりました。

続いて優秀賞に選ばれた各作品について講評します。

園部<sup>そのべかいと</sup> 皆斗君の〈いつまでもこの海で〉は、珊瑚の中を泳ぐ小魚や、岩場に生きるカニ、悠々と泳ぐ大きな魚などを組み合わせた作品で、全体のバランスや材質感、および夢のある発想が素晴らしい作品でした。

鈴木<sup>すずきももか</sup> 桃香さんの〈想像紙しばい〉は木彫で紙芝居を作ったというたいへんな力作で、更にめくるたびに立体的に飛び出してくる仕掛けがあって、今までにない発想の素晴らしさを感じました。

柳<sup>やぎぬまりよう</sup> 沼亮君の〈バイク〉は木口切りの端材と枝をうまく使った作品で、バイクの力強さとスピード感を感じさせる力作でした。工作技術もしっかりしているところが評価につながりました。

鈴木嘉英<sup>すずきかえと</sup>人君の〈花火の思い出〉は防波堤での花火大会を表した作品です。特に花火を工作で表すという発想が今までにないもので素晴らしく、さらに花火を楽しむ人々の様子も微笑ましさを感じさせる傑作でした。

菅野滉<sup>かんのこうた</sup>大君の〈はりもぐら〉は、はりもぐらの胴体に松カサを使うという発想がたいへん素晴らしく、色合いと材質感が表現効果につながっていました。さらに指まで繊細に作っている点がアクセントになっていたと思います。

桑名愛結<sup>くわなあゆ</sup>さんの〈三輪車〉は小さな作品ですが、その小ささが持っている愛らしさと木の温かい素材感がちょうど良く、たいへん目を引きました。更にバックミラーまでアクセントになっている点が評価につながったと思います。

小野夏海<sup>おのなつみ</sup>さんの〈お花たちのパラダイス〉はカンナクズで花びらを作った作品です。カンナクズの色合いと工作技術の高さによって会場で一番美しい作品として目を引きました。

三瓶未久<sup>さんべいみく</sup>さんの〈シーラカンス〉は流木と松カサなどを使った作品です。堂々とした迫力が会場の中で一番目を引き、たいへん素晴らしく、更に動きや新鮮な発想が加わればもっと良くなると思います。

小松渚紗<sup>こまつなぎさ</sup>さんの〈さかなつり〉は魚釣りの情景を表した作品ですが、情景を説明するだけでなく、人物の踏ん張った感じや、魚の暴れる様子、更に波の様子までが造形的に見事に表現されていました。これからも楽しみな力量を感じました。

鈴木夏帆<sup>すずきかほ</sup>さんの〈とんぼ森〉は森のうっそうとした様子と、とんぼの羽根の繊細にひるがえる様子がそれぞれアクセントになって、お互いを引き立てあう良い作品になっていると感じました。

田村英之<sup>たむらひでゆき</sup>君の〈らん〉は鉢植えの蘭の様子が木肌によって表された作品です。本物の蘭も美しくていいものですが、木工で表されたこの蘭もそれに劣らないくらい材質感と発想の新鮮さを持っていて美しいと思いました。

全体として、大きく迫力があって丁寧な技術を持った作品が増えてきて、たいへんレベルアップされていて、とてもうれしく感じました。

この中で受賞した作品は、さらに新鮮な発想力や、思いがけない表現の見事さを持った作品が多く、とてもレベルが高かったと思います。

他にも優秀な作品もたくさんあって、これからはとても楽しみな審査になりました。皆さんも更に作品作りを楽しんで素晴らしい作品を作ってほしいと思います。

以上

☆☆☆第35回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆☆

(敬称略)

最優秀賞

福島県知事賞



**流木恐竜**

いわき市立平第一小学校  
3年 小幡柊貴



**オクトパス**

いわき市立勿来第一小学校  
6年 前澤伸賢

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞



**いつまでもこの海で**

いわき市立郷ヶ丘小学校  
3年 園部皆斗



**想像紙しばい**

いわき市立夏井小学校  
5年 鈴木桃香

関東森林管理局長賞



**バイク**

郡山市立明健小学校  
4年 柳沼 亮

福島民報社長賞



**花火の思い出**

いわき市立小名浜東小学校  
4年 鈴木嘉英人

(財)県林業会館理事長賞



**はりもぐら**

福島市立野田小学校  
3年 菅野滉大



県木連会長賞



三輪車

郡山市立日和田小学校  
4年 桑名愛結

NHK福島放送局長賞



お花たちのパラダイス

いわき市立中央台南小学校  
5年 小野夏海

ラジオ福島社長賞



シーラカンス

いわき市立小名浜西小学校  
5年 三瓶未久

福島テレビ社長賞



さかなつり

いわき市立平第五小学校  
1年 小松渚紗

福島県木材青年協会会長賞



トンボ森

郡山市立高倉小学校  
3年 鈴木夏帆



らん

いわき市立平第一小学校  
6年 田村英之



# 入賞者名簿

(敬称略)

## 最優秀賞

福島県知事賞 1部

流木恐竜

いわき市立平第一小学校 3年 小幡 柁 貴

福島県知事賞 2部

オクトパス

いわき市立勿来第一小学校 6年 前澤 伸 賢

## 優秀賞

福島県教育委員会教育長賞1部

いつまでもこの海で

いわき市立郷ヶ丘小学校 3年 園部 皆 斗

福島県教育委員会教育長賞2部

想像紙しばい

いわき市立夏井小学校 5年 鈴木 桃 香

関東森林管理局長賞

バイク

郡山市立明健小学校 4年 柳 沼 亮

福島民報社長賞

花火の思い出

いわき市立小名浜東小学校 4年 鈴木 嘉英人

(財)福島県林業会館理事長賞

はりもぐら

福島市立野田小学校 3年 菅野 滉 大

福島県木材協同組合連合会長賞

三輪車

郡山市立日和田小学校 4年 桑名 愛 結

NHK福島放送局長賞

お花たちのパラダイス

いわき市立中央台南小学校 5年 小野 夏 海

ラジオ福島社長賞

シーラカンズ

いわき市立小名浜西小学校 5年 三瓶 未 久

福島テレビ社長賞

さかなつり

いわき市立平第五小学校 1年 小松 渚 紗

福島県木材青壮年協会会長賞1部

トンボ森

郡山市立高倉小学校 3年 鈴木 夏 帆

福島県木材青壮年協会会長賞2部

らん

いわき市立平第一小学校 6年 田村 英 之

## 入選

福島県木材青壮年協会会長賞

とんかつとキャベツ

福島市立庭坂小学校 1年 小野 颯 己

カブトムシ

福島市立庭坂小学校 4年 佐藤 玲 音

わたしの公園

福島市立瀬上小学校 3年 高橋 由 佳

りゅう

福島市立野田小学校 2年 桑折 隼 斗

おっお物だ

福島市立野田小学校 5年 菅野 陽 斗

のこぎりかぶとねこのマルかだん

郡山市立薫小学校 2年 佐藤 佳 音

つりびと

郡山市立喜久田小学校 6年 三本木 慎

森のSL

郡山市立日和田小学校 6年 佐藤 咲 月

森のくまさん

郡山市立日和田小学校 6年 黒澤 輝 輝

デコトラ

いわき市立上遠野小学校 3年 栗須 開 夢

みのむし「みの吉君」

いわき市立勿来第一小学校 4年 遠藤 玲 奈

フクロウ

いわき市立長倉小学校 6年 佐藤 孝 樹